

compass ~コンパス~



「輪島っ子スタンダード授業スタイル」を

意識していきましょう！

金曜日に行ったミニ研修で、みなさんと一緒に児童に「自分の考えをもたせる」手立てについて考え、共有することができました。以下のようにまとめましたので、参考にしてください。

1 自分の現在地の把握とゴールの可視化（見通し）

・現在地の把握

…問題に対し、自分がどれくらい理解できているかの見通しをもたせ、学習のスタートラインを明確にする。

・子どもの言葉でゴールを創る

…単元のゴールを教師が提示するだけでなく、児童自身の言葉で紡ぎ出し、クラス全体で共有する。

・全体像の提示

…単元全体を見渡せるスライドや「ストーリー性」を活用し、本時の学習が単元のどこに位置し、前時とどう繋がっているかを意識させる。

2 基礎と既習を生かす

・基礎の徹底

…応用的な思考に入る前に、まずは基礎的な事項を確認し、思考の土台を固める。

・既習事項の活用

…前の勉強が次にどう繋がるか、どう生かせるかを児童自身に考えさせ、学習の連続性を実感させる。

3 思考を促す支援

・キーワードとモデルの提示

…「これがあれば分かりそう」と思えるキーワードや例、数などのモデルを示し、思考のきっかけを与える。

・ヒントの精査

…適切なタイミングでヒントを出す。ただし、依存させないよう「マンネリ化」に注意し、自走を促す。

・「操作」を思考と捉える

…書くことだけでなく、具体物の操作なども立派な「考え」の一つとして価値付け、多様な表現を認める。

たくさん書きましたが、いきなり全てを実践するのは難しいと思います。まずは、「輪島っ子スタンダード授業スタイル」の基本的な授業展開を意識して、授業づくりをしていきましょう！その中で、1つでも実践できたものがあれば、花丸だと思います。